

マルクが木をおすすめする理由

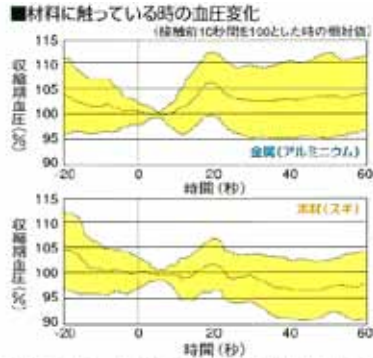


健康と快適を創る

木の魅力

ストレスの緩和

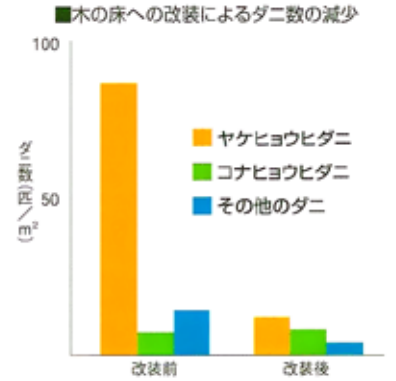
自然育ちの木は、すがすがしいマイナスイオンの発生源。その香りには鎮静作用があり、まるで森林浴をしたかのように、気持ちをリラックスさせてくれます。また、木目の自然なゆらぎは人の心を落ち着かせ、あたたかみのある木肌に触れると血圧が低下することも認められています。



実験データ/静岡県工業技術センター-地域産業技術部-産業活性化支援事業

殺菌・消臭

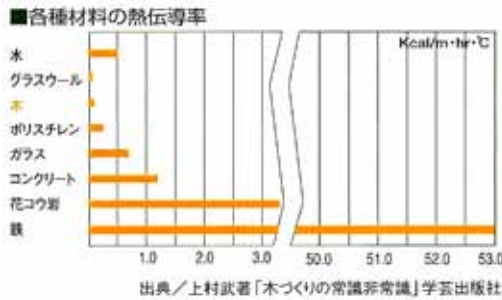
木の香りの成分の一つであるフィトンチッドには、殺菌・消臭効果があり、子供のアレルギーの原因となっているダニの繁殖を抑制する働きがあります。実際に、カーペット敷きの床からムク板の床への変更により、ダニ数の著しい現象が見られます。また、木のもつ調湿作用は、湿気を好むカビが発生しにくい環境をつくれます。



出典/高岡・高野・宮崎「日本衛生学会誌」42(1)、223、1987

断熱性・弾性

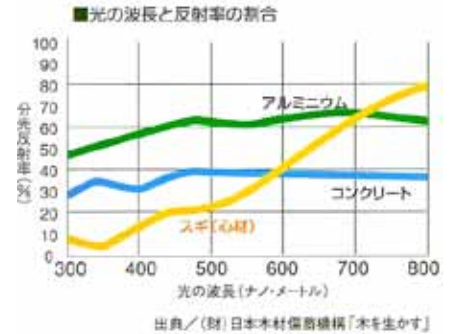
木は熱伝導率が低いため、長時間、体がふれていても体温が奪われにくく、冷たさを感じません。素足で木にふれているとぬくもりを覚え、気持ちよさを感じるのには、木が断熱性をそなえているため。また、転んだ時のショックを受けとめる衝撃吸収性や、歩行しやすい適度の弾性があり、私たちが生活する上で理想の床材となってくれます。



出典/上村武著「木づくりの常識非常識」学芸出版社

音響・紫外線吸収

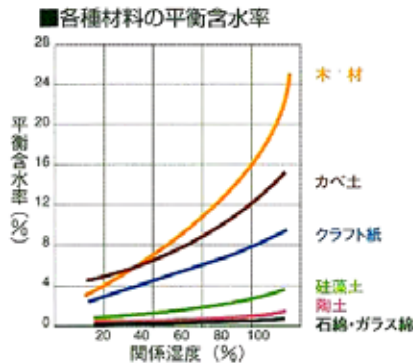
木は音を美しく響かす特性があるので、木を内装材に使った空間はリスニングルームとして適しています。また、窓から室内に入り込む有害な紫外線の反射を抑え、目や肌を保護する働きもあり、木の持つ多彩な魅力は、人の視覚聴覚にもよい効果をもたらしてくれます。



出典/(財)日本木材傷菌機構「木を生かす」

調湿作用

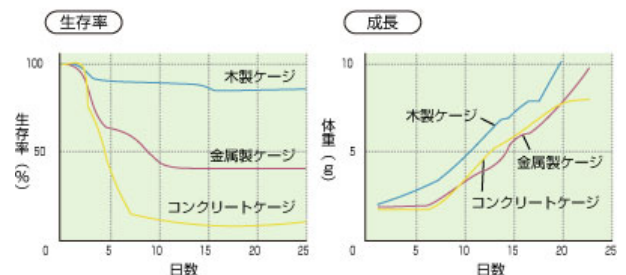
室内に使われている木は、湿気が多いときには水分を吸収し、反対に乾燥してくると水分を放出する働きがあります。長さ2.7m、10.5cm角のスギ柱はビール瓶にして0.5本~1本分の水分を吸収するといわれています。たとえば保存物を守るために、博物館の収蔵庫は木を張り巡らしたものが多く、木の優れた調湿作用が活かされたよい例といえます。



出典/上村武著「木づくりの常識非常識」学芸出版社

健康に良い影響

素材の異なるケージでのマウスの生存率と成長



静岡大学農学部 伊藤他 1987

木は健康に良い影響を及ぼすことが、実験で確かめられています。木の飼育箱のマウスは金属やコンクリートの飼育箱のマウスより生存率が高く、成長もよい結果がでています。